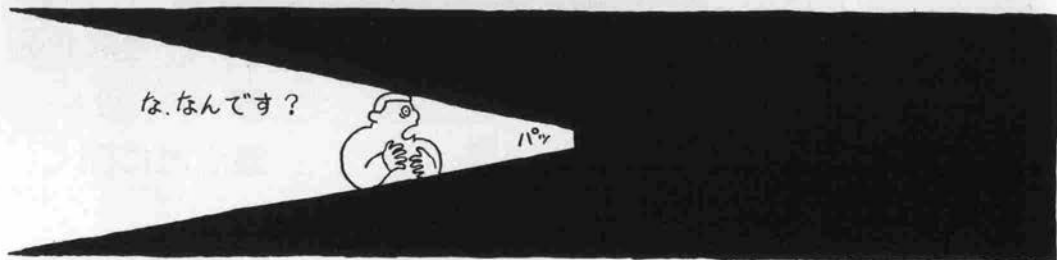
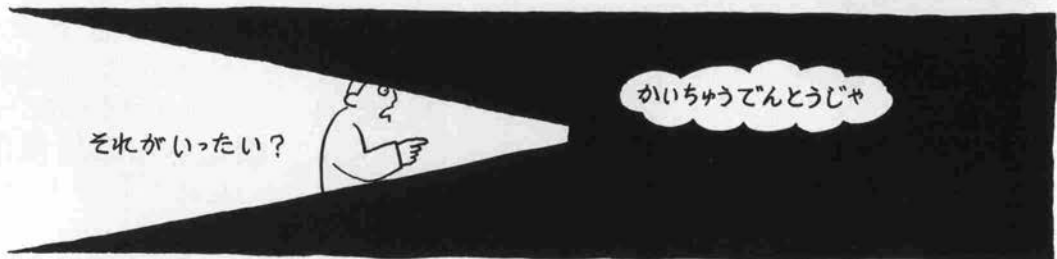


1



2



3



4

見よ！



5

わわっ！ どういうしかけて？

パッ



6

たんなる黒インクじゃね



7



青木幸夫 代表取締役

★これからの商業不動産は

話題性・続くという事

青木 幸夫

株式会社エルアイシー
代表取締役

●話題を次々と

土地の高騰のため、賃貸料も高めに設定されがちですし、輸入品の価格もどんどん下がってきました、飲食・物販などのテナントさんもそれほど楽には商売ができない状況です。そういう中でテナントがもうかって続けていけるということは大変なことです。

私も手がけていますのは、オフィスビルだけではなく、飲食店、ブティックなどがミックスされたテナントビルです。続けるということでは、そこには話題性が必要となります。それがなければ、

続けるということは難しくなります。ことに日本人はマスコミなどで取り上げられて話題になったもの

のに対しては、とても敏感で人も集まります。またその反面、飽きやすいという特徴がありますので、

これでもか、これでもかと、次々と話題を提供していかなければ、せっかく一度は集まったお客さんが離れ、人の流れがと絶えてしまう恐れがあります。そこには、何らかの仕掛けが必要となるかもしれません。マスコミを使う、あるいはダイレクトメールを送るなど、いろいろと考えられます。忘れられないようにする努力が、常に必要なのです。

●うまくミックスする

また、続くということでは、その話題性に加えて、テナントさんどうしの協力、内部のまとまりが必

要となります。そうして当初のビルのイメージを保っていきます。

すなわちハード面、ソフト面を考えますと、ハード面は設計士なりの考えで出来るわけですが、ソフト面については、様々なテナントさんのミックスということですので、簡単にはいきません。私どもは常日ごろから、良いテナントさんを捜しているわけです。すなわち、ただ単にお貸しするのではなく、この店なら…、この社長なら…というところまで考えないといけません。それを続けていきますと、合う人の輪も広がり、数字で合うわけです。良いテナントさんをいかにミックスするかに、私どもは力を注いでいますし、それが商業不動産を活かすということとです。

このたび、北野に和田アキ子さんのお店がオープンしました。老若男女に好かれる和田さんのキャラクターに魅かれて、お借りいただいたわけですね。大衆に好かれるということは、とても重要ですし、彼女のタレント生命も非常に長いものと思います。近隣の店舗、街並にも良い影響を及ぼすことが出来ると思います。これなどは話題性、良質のテナントミックスということの、格好の例だと思っています。

和田アキ子のヘアーサロン 北野にオープン

パステルトーンの風が髪をすりぬける午後
優しい輝きとシャープな光がデュエットする空間
ヘアーサロン「Buzz」&インナーショップ「A&K」



私にと 全ての
“美”への アプローチ



2F 女性の“夢”と“美”を追求するヘアーサロン。
A&K London・アメリカでも大活躍のヘアーアーティスト二村佳子におまかせ下さい。

3F INNER SHOP A&K

Dior, ワコールなどのブランドインナーウェア。
さらにホリプロ提供のキャラクターグッズなどなど...

**LICは不動産を
芸術で考える
会社です。**

商業不動産事業計画コンサルタント

LIC LOOK
INFORMATION
CONSULTANT

株式会社 エルアイシー

ポートアイランド・神戸国際交流会館7F

☎078(302) 4009



株式会社 LIC
青木幸夫 代表取締役



神戸市中央区山本2-13-14 FIX213ビル
TEL 242-7331 (Buzz), 242-7359 (A&K)

●市制100周年記念——

私と神戸



山田 恭一

〈株式会社そごう
副社長・神戸店長〉

人が集まる三宮界隈の 文化ゾーンの核に

芦屋生れで、芦屋山手幼稚園から山手小学校、芦屋中学を出て松山高校の二年生で終戦を迎えました。虚弱児童の私が、寮生活とバレーボールの高校時代に身体を鍛えて強くなった。旧制の京大農学部で化学を学び、二十七年に大学を出ても不況時代で、大学の研究室から、たまたま大阪そごうが接収解除になり入社して、何と神戸配属が人事部。大学出なのにソロバンが出来ない(笑)人事部で五年、三十二年に東京店の人事係長。この東京時代、水島副社長(現社長)との出会いが運命を決めましたね。

私は松山高、京大で自治会の学生運動をやった経験から、三十九年に組合活動の強かった神戸そごうの再建に、人事課長で送りこまれ、頼りになる会社づくりで全力投球。「少数精鋭経営主義の経営体制」など、労働管理の本を数冊、タレント重役といわれる程講演に忙しかつた。五十一年、店長になって以来十四年間、神戸の発展と共に大きく育ち、海外事業室も担当し十六カ国へ出店、今度の改装で八十ブランドの内容充実楽しいですよ。三宮界隈も「三宮グループ」に展がったので、梅田に匹敵するような人集めの文化施設づくりをめざし、情報発信基地の核になって頑張りたいですね。

株式会社 そごう神戸店

神戸市中央区小野柄通8-1-8
☎078・221・4181

(談)



●市制100周年記念——

私と神戸



松谷 富士男

〈㈱ベニヤ代表取締役社長〉

ダイヤモンドのように輝く 神戸発信のベニヤに

京都生れの私が、大丸前の永田良介商店へ勤めたのは十八才の昭和十二年頃です。

ハイカラな欧風家具と室内装飾の営業マン。神戸はホワイトハウスやブラジレイロ、パウリスタなど何と喫茶店と坂道の多い街かと驚き、淋しくなるとメリケン波止場へ行って船や海を見て感傷にふけたものです。

戦前のミナト祭りのはなやかさが印象深く、元町の有名なお店の店舗改装にも良く行きました。

昭和二十八年に独立し、家内と二人でセンター街に、洋品雑貨と下着の店を始め、神戸はもともとサロン前掛け、割烹着を作る工場があり、そこでブラウスや、ランジェリー、ベチコートなどのオリジナルを創って、よく売りました。店名は「朝日が昇る紅の色を象徴した紅屋」と先代永田の奥さんが名付親。私のインテリア好きの源流です。

さんちかタウンは、ベニヤの多店舗化へのスタートで、大阪、東京へと発展し、平成元年は、満四十周年を迎えました。これからもファッション都市神戸と共に成長しきびしい洗練されたライフスタイルと選択眼をもつ神戸の女性達に愛される、神戸カラーの強いダイヤモンドのように輝くファッション専門店として、神戸から発信し続けます。

株式会社 ベニヤ

神戸市中央区三宮町1-10-1 交通センタービル6F
☎078-3332-3155

オープン パティオ



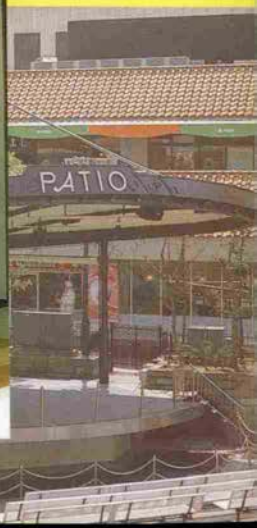
LADIES' WEAR KOBE-OSAKA-TOKYO

SUGIYA

春はお洒落をしたくなる季節。一足先に、視線をひとりじめする女性に…。華やかなファッションをお試し下さい。

本社 中央区加納町4丁目9-14 ☎333-6980

須磨パティオ店 パティオ1番館・1F ☎792-6066





リフレッシュ

春一番 at 須磨



KOBE
MASADA

須磨パティオ店 (078) 792-5652

優しい顔の女性をつくるために
爽やかなパステルカラーをそろえ
ました。春先に出会うスマイルやレ
ンゲソウのような感性を大切に…。



四月の思い出。

出逢いの季節にあなたがいきました。その思い出が今でも
私の胸にあります。忘れられない四月、アイリメンバー エイプリル。

HAKUHODO
白寶堂

米国宝石学会 鑑定鑑別士(G.I.A.G.G.)大野治代 他2名

●六甲店 ☎078(881)6000 ●カーラ(婦人服とジュエリー) ☎078(843)4100 ●ラポルテ芦屋店 ☎0797(22)8800

Coffee Break



★オリックス後援会が神戸に誕生

ファンの方はすでにご存知か、3月30日「オリックス・ブレーブス神戸後援会」が発足した。プロ野球を神戸に定着させることで、スポーツの振興および地域活性化に貢献しようとの趣旨のもと、財界や文化人、商店会などに働きかけ結成にこぎつけた。



川西 勉さん

世話役として尽力されたオリックス神戸支店長の川西 勉さん

西勉さんは「できるだけ多くのの方に球場へ足を運んでいただき、応援して、試合を盛り上げてほしいですね。神戸市民こそって——」と意欲と自信をのぞかせる。テレビ観戦もいいが、見知らぬ同士が特定の空間と時間に集まり、楽しみを共有するというのも面白く、また実際に球場でゲームを観るのは格別の味だ。われわれの地元チーム、新生ブレーブス頑張れ!

★久しぶりの神戸

気負わず楽しく

「仲間と一緒に明るく楽しくワイワイ言いながら仕事ができれば、それで充分ですよ」と読売新聞神戸支局長の今譲治さん。昭和40年から17年間にわたって神戸支局に勤め、大阪本社、和歌山支局、再び大阪本社を経て、今年1月から支局長として古巣へ戻ってきた人の率直な感想である。



今 譲治さん

身で同志社 北海道出身

大学に学び、長年神戸に住む今さんにとって、神戸は第二のふるさと。人間的にも風土的にも明るく、食べ物も旨いこの街が好きだという今さんは「他所には住みたくないんですね」というほどの惚れ込みようだ。「暮らしやすいし、イベントも多彩・豊富で仕事をするにも面白いところですよ」。あくまで気負わずマイペースの今さんである。

★「知的な女性」テーマに秋冬もので華麗にデビュー

4月4日ポートピアホテル・デザイナーショーの場で新進デザイナーがデビュー。スーツ、ドレスなどフルアイテムの商品構成で、素材は天然を主流にシルクとウールを使用して秋冬も

のを発表。今回VOTREのブランドで秋アバンよりスタートしたのは岩田明さんだ。



岩田 明さん

岩田さんは80年に渡り、8年間パリを舞台に勉強・活躍した後、昨年帰国。「オー

トクチュールで仕事をしてきた私ですが、その技術と日本の技術・素材・感性をミックスした高級プレタポルテを目指しています。あなたのために素晴らしいものを提供していきたいですね。」

★「知的な女性」は岩田さんにとって服作りの永遠のテーマだそうで、今回のデビューから追求の第一歩が始まったといえよう。パリ仕込みのセンスと独自の感性に今後が楽しみです。

★ユニークな題材、ユニークな曲で独自の世界を

普通の箏は13弦だが、ひと回り大型のものに20弦箏がある。幅も50cmと広い。ここに紹介する小野栄子さんは神戸出身の演奏家で、4月2日芦屋・ラポルテホールにおいて「谷崎潤一郎の世界」を演じたところだ。



小野 栄子さん

は幼少よりピアノに親しみ、桐朋学園短大を

卒業後渡米、ニューヨークを中心に活動してきた。その後ジャズ界にも活動の幅を広げており、すべてこなすマルチパフォーマーとして、各地で精力的な活動を展開中。

「フュージョンもやるし日本の童歌をモチーフにした曲も創ります。ユニークな題材、ユニークな曲で独自の世界を追求していきたい」という小野さんは、オリジナルで勝負する数少ない演奏家。さらに大きな飛躍をめざして、意気盛んだ。

★ハーパーのユニークギャラリ



寺田 為彦さん

新神戸オリエンタルパークアベニューにある「テクラギャラリー」が写真家に「ユニークな題材、ユニークな曲で独自の世界を追求したい」という小野さんは、オリジナルで勝負する数少ない演奏家。さらに大きな飛躍をめざして、意気盛んだ。

「徹底的にいいものだけを選択する。名門ギャラリーをめざしています」とオーナーの寺田 為彦さん。「将来は規模を拡大して、美術館的感覚から写真も売れるようになる時代」と商売っ気もチラリ。自身写真家だが、本業は靴の卸販売。ユニーク人間の一人だ。

動物園飼育日記 —〈280〉— 滝井一成 〈王子動物園学芸員〉
写真撮影も筆者

母ウマのヒツメ



「あのロバやウマ、何故、片方の後ろ足、つま先で立っているのかなあ。」

「あんなことしていたら、しんどいと思うのです」

「それにスーパーで売っている卵、苦勞して生んだニワトリの卵が、ヒナにならない、そんなこと信じられへん」

あるTV局での、イチゴちゃんインタビュアーからの質問だった。

昭和5年生まれの私は、現兵庫区荒田小学校で学び、昭和13年の大水害で家は流失。昭和20年3月17日、神戸大空襲の記憶も生々しい。

ちょうど校門前が坂道であったから、当時石炭やコークスを満積した馬車がよく、蹄で火花を飛ばし坂道をのぼっていた。

パシッ／＼パシッ。

「それ行け、それひけ／＼」



休憩？それとも警戒？
後ろ足のヒヅメを立てているのはなぜでしょう？



イチゴちゃん、仲々するどい観察力です。

ガッ、ガッ、ガッ、
大声に力いっぱい馬の眼は飛び出そうに見える。

重くて坂が登れない馬車の後をよく押したことを覚えてる。

それに、馬糞を拾ってきては学校菜園にも入れたこと。運動会の日、靴でその馬糞を踏んで行っでは先生に叱られたこと。馬のように早く駆け回ると、幼心の昔がなつかしい。この頃にはもう、神戸自慢の市電がグリーンのツートンカラーで走っていた。

しかし、まだまだ馬車の往来も多かった。その馬は、荷物の積降ろし作業中が唯一の休息時なのだ。かいば桶に顔を入れ、切わらとヌカを混ぜた餌をほおばる馬によくみとれた頃を思いだす。

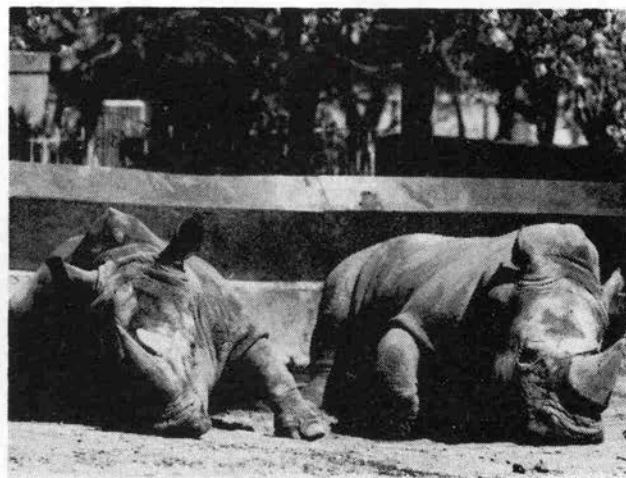
その馬が、後ろ足のヒヅメを立てていた。

「馬は後ろに蹴るから近ずいたらあかん、ヒヅメを立てているときは、眠っている時なんだ、そつと休ませてや／＼」

荷馬車のおじさんの話を覚えている。

昭和25年、ゾウが神戸にやってきた。その第一号飼育係が私だった。以来39年、カバ、サイ、キリン、シマウマ、ロバ、トカラウマなど次々とお座に立会い、育てさせてもらった。

【ウマのヒヅメ立ては警戒心か、休憩なのか】
サイ、カバ、キリンは落着くと日中でも大木や



「僕たち果下馬も休憩の時はヒヅメを立てるんだよ」

ているのである。

つまり動物たちが休憩するとき、いくら飼い馴らされようが、天敵への警戒を忘れることがないのである。

さて、馬が休憩のため座することは少ない。木影で、うつらうつら立ったまま休んでいる。

「あれ、どうしてあのロバやカカバ（果下馬）どうしてヒヅメ立ててるの……」冒頭のイチゴちゃんが不思議な光景を見たのであろう。

「あんなことしたら、よけい、足がしんどいのとちがう」

馬の専門誌にもあまり解説がある一冊には、後ろ肢の一方の蹄尖だけ地面につけて休んでいるのは、その後ろ肢が疲労していると考えてよい。前肢の場合は筋肉や腱が疲労しているか、骨折していることもあると記されている。しかし荷物を運んだりレースに出ることもない動物園のシマウマ、ロバ、果下馬、トカラウマの全てが休憩時にヒヅメを立てている。しかも子ウマを生んだメス親の荒々しさは、すさまじい。

激しく咬みつき蹴りたて仲間さえ寄せつけない。その子ウマが休むと、きまって母親は、ヒヅメを、しっかり立てて回りを見守っている。つまり、ヒヅメを立てることは警戒心を表し、相手に対し威嚇を与えていると私は思うのである。

それにしても第二問。有精卵と無精卵が理解できないイチゴちゃんの間には思わず苦笑してしまった私であった。

しかし／イチゴちゃんの意味（イチゴ、つまり十五歳代をさすこと、はずかしながら、昭和ヒトケタ世代の私も、あのキダタローさんも、首をかしげたのである。（これ影の声）

大きな岩を背にして座って休むことが分った。しかも、神戸の場合、地形的に南向き獣舎になっているから、どの動物もフェンスや壁を背に南向きに座っている。つまり後ろからの攻撃を防いでいるのだ。

一方、背の高いキリンは子キリンを座らせ、親たちは我々に視線を向けている。ちょっと近づけば、さっと立ち逃げ出した。やはり、壁を背にし

★神戸の集いから

★消防と町とのパイプ役を
うけもって40年

神戸市消防局広報誌「雪」が創刊40周年を迎え、3月7日の夜、オリエンタルホテル2階大宴会場で記念会が行われ、宮崎辰雄神戸市長をはじめ、執筆、市役所関係者、消防関係者、各界の文化人など約400人が参加した。

野村基さん（神戸市会議長）西澤辰夫さん（消防庁）が祝辞を述べ、宮岡寿雄さん（神戸市助役）により乾杯の音頭がとられた。

また、神戸市防火協会連絡協議会議長（榎竹馬産業社長）竹馬準之助さん、「雪」編集部に感謝状がそれぞれ贈呈された。



歴代編集員のみなさん

★留学生のつどい
卒業生を祝して

物価高のための生活難にも負けず、ひたすら勉学に打ち込んできた留学生。そ



お国での活躍が楽しみ

の中で、今春日本の学校を卒業し、多くの学んだ事を生かすべく母国へ帰る人を祝して、3月14日の6時から栄町ホールで、KICS（神戸インターナショナルコミュニケーション・サービス）主催によるパーティーが開かれた。

当日集まったのは留学生約50名、日本人関係者約50名。飲物を片手に寿司やシューマイをつまみながら、アジアの留学生もアフリカの留学生も、久々の交流を日本語で深めていた。

★「兵庫の地名を歩く」
出版記念祝賀会

出版記念祝賀会

三月十八日午後一時より神戸国際会館八階の宴会場において、各分野で文筆、公演会など幅広く活動されている神戸新聞編集委員の有井基さん著述による「兵庫の地名を歩く」の出版記念祝賀会が開かれ、神戸を代表する各界の人々およそ一五〇人がかけつけた。

神戸新聞取締役の田中忠雄さん、高齢者問題専門家の赤井成夫さん、詩人の君本昌久さん、関西学院大学体育主事の米田満さん、姫路近代美術館準備室の橋川真一さんら五名が祝辞を述べられ、松本尚詩さんの舞いが集いに花を添えた。



出版を祝して乾杯

★女は銘酒に弱い！

サケヌーボーレディスの会

富久錦、神結、高德、灘泉、黒松白鹿、老松、小鼓宮の井、山陽盃、龍力、金

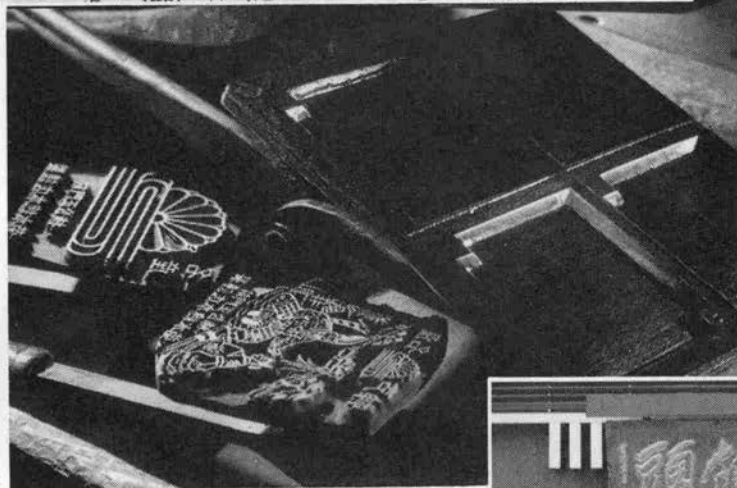


講演中の村上和子さん

鹿、澤之鶴、倭小槌、金正宗、真名井乃鶴、灘菊、酒豪、福寿、雪彦山、金露、大黒正宗、島美人、八重垣白雪、名城、香住鶴、白鹿、菊正宗葵鶴、名刀、来楽などの銘酒をそろえた、サケヌーボーレディスの集いが三月二十一日貿易センタービルのバードで、兵庫県清酒青年部会のメンバーが主催して第一回の集いに約150名の日本酒ファンと女性達が集った。村上和子さんの講演、きき酒大会など女性達も、頻りに見事なのみっぷりであった。

伝統を、四季を、そして匠の技を、
いつまでも贈ります。

百二十余年の歴史が語る、
菊水の菓子づくりの心。



創業明治元年



歳時の味を楽しむ
菊水總本店

本店／神戸市中央区多聞通3-13-15
TEL(078)832-0080

創業明治元年当時の図

神戸市制100周年記念

ハイカラ神戸'89



ファッションと
実用性のハーモニー



昭和初期の服部宝生堂

初代服部つねは、大阪から神戸に出て来て明治28年に、旧居留地前で雑貨やファーマシーを。二代目服部亀吉は洋行帰りにメガネの検眼レンズのセットを持ち帰って眼鏡屋を始めた。関東大震災でそ開して来た神田の職人たちがやってきてオーダー眼鏡もあったよう。昨年他界した三代目の後をうけた四代目は、ハイカラの伝統を受け継いで、ファッションと実用性の調和に心をかけ、豊かな暮らしの中で、楽しむメガネをお客様に提供している。

服部メガネ

神戸・大丸前 ☎(078)331-1123



〈エッセイ〉

姫路文学資料館開館めざし

— 椎名麟三の新資料探つける —

田 麿 新〈作家〉

① その名も知るき 書写の峯

流れも清よき 夢前の

川のほとりの村里は

これぞわが住む ふるさとよ

曾左小学校の校歌である。一九二二年（大正一〇年）に新校舎が開校すると旧西坂、東坂、田井の他に西の峠から六角、刀出の五力村が校区になる。その前年十二月に大阪から転校してきた大坪昇少年は、東坂から西へ七、八百米離れた同小学へ通学する。少年は後の椎名麟三で、前述の校歌を歌っている。わたしは二一年後輩になる。

② けだかき峯をのぞみつ／澄める流れとむすびつつ／高くけだかき心もて／学びの道にいそしむ④親のなりわい忘れずに／朝夕すすみ世のさまに／たえつはげみつさがけつ／村の栄えをはからまし

この校歌も現在夢前川のほとりに移転（一九八二年）して消えている。

ハイカラな家を新築した大坪家の南の畠を挟んで東谷家には一年上の少女がいた。おもなで田舎に似合わぬ色白のべっぴんである。大阪育ちの昇少年は四女のそのたみ少女の存在に早くから心うばわれ、五年生になるとポスト受けに恋文を入れる。

— 僕の少年時代のラブレターを彼女が保存していたとすれば、値打ちのもでしょう。しかし天は僕に組みしよ、彼女はきつと散佚しているか、破りすてているでしょう。そのころ、彼女は、封建的な倫理性の石膏でギブ

スをはめられていたようですから——（わたし宛への手紙、一九五四年八月二五日付）

どんな内容だったのか、いまでも息災の東谷たみさんは「どっかへ遊びに行きましよう」と何度も誘われたと想い出す。村の区長をするほどの家庭のきびしさは、ある日、その恋文を大坪家へ突き返しにゆく。題名はさだかでないがそんな作品を後に椎名は書いている。

当時大阪に別居している父親は、丁度村の八幡宮の落慶にさいし、応分の献金をしたらしく、玉垣に大阪大坪熊治の名入り石柱が正面右側に建っている。父の出身は塩田村であったのに、母の里に家を新築し、その上鎮守様にも寄付する余裕があったのだ。

少年は転校後、級長をし村で一人姫路中学へ入学。父から新しい自転車を贈られる。だが、その後株で失敗し愛人宅に住む父は、里への送金をおこたる。少年は中学三年の春、大阪の父を訪ね生活費を取りに行くが果たせず、そのまま家を出てしまう。

再び書写を訪ねるのは二八年後の一九五四年十二月である。

姫路市が市制百年事業として文学資料館をいよいよ着工する。郷土出身の学者や文学者の功績を末永く保存展示するもので、椎名麟三関係の収集を始めているわたしにとって新しい資料を二、三披露してみたい。

【その一】 昨年六月に「椎名麟三の回想と文学的意義」を主題に同時代の作家、塩谷雄高、野間宏、中村真一郎氏による鼎談をビデオに撮ったことである。特に寄せ書



黒田のビデオ撮りで右から中村、野間、塩谷、田森

きと色紙は貴重で、塩谷氏の色紙やテレビ嫌いは定評だっただけに、椎名氏との深い友情にほだされたとしか言いようがない。

椎名は小説の他に劇曲（15本）、ラジオ（14本）、テレビ（4本）、ドラマから映画（3本）にも、その文学的展開は実に幅ひろく多岐にわたっていることの変貌が改めて評価の対象になった。

【その二】『姫山物語』（一九六三年十一月十六日昼部）初演をラジオ関西が録音中継していて、上演の後アナウンサーのインタビュに応える椎名の生の声が残っている。わずか四〇秒ほどで現存する唯一の声を再現すると——（作品）意図と申しまでも非常に簡単なことで、われわれが現在に出会う問題を扱っているわけだ

ね。それを時代劇にはめこんだと、それだけのことに過ぎないんです。それは簡単に申し上げますと二者択一の問題というのですが、普通は。それを扱ったわけで、姫路の方々によく分かってもらえるような仕方です。書いたということですね。

質問 やはり富姫（主人公）が最後に毒を飲んで死んでゆくところに（二人の男から求婚され）

彦平も一種の死ですね。死んでるわけで、どっちを選んでも、どっちを選ばなくても死ななければならぬという現在の状況を扱ったということが言えるわけですね。

『姫山物語』のテーマである二者択一は、他ならぬ椎名さん自身の選択ではなかったのか。その年の五月から半年間、週三回の稽古の何度かを手弁当で来姫する。心臓発作を抑えるニトログリセリンを懐にしのばせて。ある時は便所で倒れたという極秘の挿話もあったほど。

白鷺城復元記念に併せ地元の文化団体の結集に積極的な協力を惜しまなかったわけだが、組織集団の難しさを身に受けとめ、芝居上演を成功させることでしか結集は許されなかっただろうとその選択を自分に強制した。

姫路の文化団体を結集しての『姫山物語』上演のため、すっかり身体をこわし、現在臥床中です（一九六四年元旦）の年賀がある。

【その三】舞台美術四〇年、板坂晋治展がABCギャラリーで開かれた（一九八八年十一月）。関西での劇曲上演にかかせない舞台装置をほとんど一手に引受け、巨きな業績を残した板坂氏の平面図四百余点の中に、椎名麟三作『終電車脱線す』（一九五四）、『第三の証言』（一九五五）がある。その他『天国への遠征』（一九六九）もあるが、その資料の一部を文学資料館用に展示してもらえ運びが約束されている。

★「自由忌」昨年につづき塩田温泉知新荘で三月二十八日（火）に開催。詳しくは姫路市市民文化課文学資料館開設準備室へ。電話〇七九二（二一）二二三三七



お 可 川



上島達司実行委員長



トム・キャンティ

●話題のひろば●
**盛り上がった
 グルメ都市KOBE**

●
 グルメ・プロムナード
 3月22日・23日・24日



トム・キャンティ



トゥール・ドール



栄 弥



＜写真右上＞グラシアニ＜右下＞グーニー＜左上＞アラン・シャベル＜中＞ジャンムーラン＜下＞西村屋

三月二十二日から三日間、神戸はグルメリ色に塗りつぶされた。ワールド・フアッション・フェア神戸推進協議会・神戸グルメ・フェア実行委員会（委員長・上島達司UCC上島珈琲社長）主催による「グルメ・プロムナード」が全市で開かれたのだ。

今年11月、京阪神三都市で「ワールド・フアッション・フェア89」が、世界で初めての総合的なフアッションイベントとして開かれるが、神戸は、(1)神戸フアッション・フェスティバル(2)神戸フアッションタウン街開きイベント、そして(3)神戸グルメ・フェアを展開。今回の「グルメ・プロムナード」はこれに先立って、プレイイベントとして行われたものである。

この催しは、各店がゲストを招き、特別メニューを提供、話と料理を楽しむ「食談会」、あるいはミュージシャンをゲストに招いての「音談会」というかたちをとるところに特色がある。

今回の参加店とゲストは次の通りである。

アラン・シャベル△フランス料理▽豊竹咲大夫△文楽義太夫▽お可川△てんぶら割烹▽上沼恵美子△タレント▽、グーニー△北野△欧風料理▽多田智満子△詩人▽、グラシアニ△フランス料理▽榛名由梨△元宝塚スター▽



◀写真右上>蛸の壺<中>馳走<下>松適家<左上>ルーサロメ<中>松適屋<下>シェ・ラ・メールにむむら

榮弥△日本料理▽奥村彪生、ジ
ヤンムーラン△フランス料理▽
大島渚△映画監督▽、シェ・ラ・
メールにしむら△フランス料理▽
―戸川昌子△作家▽、神仙閣△北
京料理▽桂小文枝△落語家▽、
蛸の壺△たこ焼▽西口菊丸△幫
間▽、馳走△日本料理▽―奈良本
辰也△歴史学者▽、桃花春△広東
名菜レストラン▽―山内美郷△エ
ッセイスト▽、トゥール・ドール
△フランス料理▽―吉本晴彦△大
阪マルビルオーナー▽、トム・キ
ヤンティ△レストラン・バー▽―
湯井一葉△シャンソン歌手▽、と
んかつ武蔵△とんかつ▽―内海重
典△宝塚歌劇団理事・演出家▽、
西村屋△かに料理▽―道上洋三
△アナウンサー▽、村松友視△作
家▽、ラ・バグ△フランス料
理▽―フィリップ・パットン△シ
ェフ▽、海皇△海鮮料理▽―大森
一樹△映画監督▽、松適屋△日本
料理▽―望月美佐△書家▽、ルー
・サロメ△フランス料理▽―朝比
奈千足△指揮者▽。

各店とも、それぞれの持ち味を
十分に發揮、秋の本番へ向け、気
運が盛り上っている。

■味の遊覧船
旬を創作する

川 廣

生田川の桜が三分咲き。

神戸の春を舌で感じたい時、旬の創作料理がうまい「川廣」へ行く。日本料理の春夏秋冬の自然をうつす感性は、高感度だがさりげない。いつも、そんな日本料理と日本酒の味に、ほんまに日本の男たちはシヤイヤなあとと思う。

美しくなった阪急三宮東口サンキタ通りの最初の小路を入った左手の山側。一階が「花ひろ」二階

◀白木のカウンターで左より高橋・親じ徳永宗春・坂本さんと千恵さん、春子さんのスタッフ



に、めざす「川廣」がある。

清々しい木のカウンターと小部屋が一望。瀬戸内海をひかえた神戸の、魚料理が気楽に味わえるのが何よりという店だ。

大阪新地で日本料理を修業した北田武夫さんを親方と呼ぶ「川廣」の親じ・徳永宗春さん(34才)は、中央市場と、屋網専門店、時には明石まで出掛けて、素材がいいという評判を保つ姿勢がさわやかだ。

「旬のうまい奴を安く。神戸のお客さんは素材もよくご存じで、職人の評価は、ここにつきる。

毎日食べてもアキないような、毎日ご飯を食べているような感じで、肩を張らないで、口で感じて美味しいなと思っていただけたら嬉しいですね。それから、お客さ



旬の創作料理の向うは小部屋

まの好みに合せて、オーダーして頂く。その日の材料の中で創作料理を出したいですね。和風に、さらっと洋風をアレンジしたようなものですがね」

魚のさしみもいいが七月頃の蛸さしやはもちりがいい。今年は蛸しゃぶをやってみたいと意欲的。勿論、魚の焼いたり煮たりの一品もあるが、神戸ビーフや合鴨(50g)を、ネギ、しいたけをソテーにしてレモンをしぼったほう楽焼も美味い。

接待料理も多く、六千円、八千円、一万円のおまかせコースで、その日その日の節を楽しませてくれる。ご気嫌なのは、長田の「すみの」酒店からやってくる吟醸。八海山、大手門、雪月花、立山鏡嶺などの大びんを一日三本冷やす。今日とどいた新潟の豪農は冷さないでいただく。

料理の後の茶そば(岡山藪蕎麦)やすっぽんぞうすい(二千元)山菜ぞうすい(千円)うにごはん(由良もの二五〇〇円)もおすすめ。若い板さん二人と、さわやか美人二人のサービスも感じがいい。

★〒650神戸市中央区北長狭通り3番12号(阪急三宮山側小路上る)オレゴン二階(078-332) 4545予約受付(078-22)6267 営業時間 PM4:00~AM2:00

■味の遊覧船

ドラマティックな

アメリカンステーキ

ビッグシェフ

新神戸トンネルを抜けて百米。

夜空に光るライトツリーに誘われて、ステーキハウス「ビッグシェフ」に車ですべり込んだ。

ドールとデッカイ三十米はある光のみの木は、長野から七十万円もかけて、昨年のクリスマスに仕込んだとか。何でもビックリ、

西部劇のシーンに出て来る手づくりの家のような暖かい店構え、春のパンジーの花々が咲く玄関の扉をパツと開けて「ハウアーユー！」

名物シェフの本田武義さん(42

才) 紅いシェフ帽に、紅いスカーフ、胸にお嬢さんの手づくりシェフ人形が愛らしい勳章のよう。色白の童顔に立派なヒゲ、にっこり笑顔が実に明るい。見る楽しみ、食べる楽しみ、アメリカン鉄板焼のキャチフレーズそのままのお人柄だ。

鹿兒島生れの九州男児。横田基地の看護婦をしていたおばさんに部厚い一枚のテキをこ馳走になったのが運命の出会い。アメリカはニューヨーク、あの「ベニハナ」へ二十三才で飛び込んで十五年間、拳銃のように鮮やかな庖丁さばきを修得したサムライが、日本へ帰って、神戸と出会った。

オーナーの熊田社長(熊田工務店の出店計画と、びつたりの解避

はラッキーノと三年半前に開店。高い天井と木組みの空間のもとに円形の鉄板を囲んだお客は、ウィークデーかアベックが多い。

大学卒業記念にと編集部の松尾君にKOBEDENコース(5800円)と、レディースコース(2700円)は私。サーモンの

オードブルとビーンズスープを砥部焼の器で味わったところで、赤

・白・紺のくす玉からハハリと白い布に「おめでとー」ジャーン

とドラが鳴って、花火をパチパチ写真をパチリと写してハートの額

にプレゼント。いや喜びましたね。豆腐・コンニャクステーキ

カ、エビ、サーモン、お野菜二、三種と神戸ビーフを焼く間の、ベ

ニハナ仕込みのショーマンシツプはお見事。スパスパと肉を切り、クルクルと庖丁を腰に。

ボンと飛ぶバターのガラス器。エンターティナーぶりの間に、お客

と会話とジョークが行き交うのがまた楽しい。「この訓練は毎日毎

日、七人のサムライ達がやっつる。最低六カ月かかるね。僕は、食

べる事をどん欲にお客さんに満足させたい。食べるドラマを創りたいの。神戸は、街がN・Y、六本

木のように、山を越すと雑木林の二面性が素晴らしい。色んな人に出

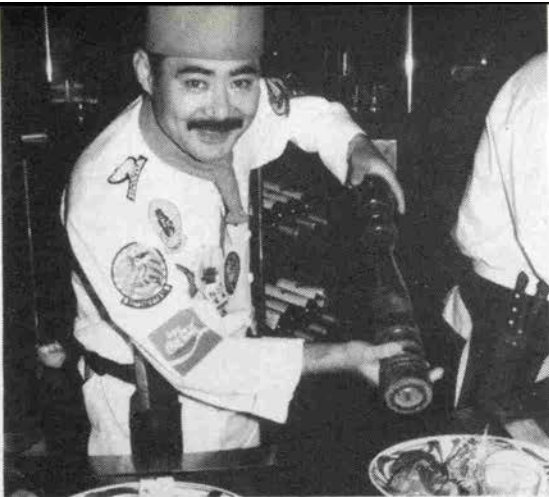
会って「最高よ」と本田シェフ。この笑顔に出会えて、今夜は最高ノ

★神戸市北区山田町下谷上宇字カンジャ3

58110338 11AM~2PM 5PM~10PM オーダー

ストップ)

上はビッグシェフ本田さんのあざやかな料理風景。
下は二階のサロンで



■味の遊覧船

鯛料理

味 鶴

中山手通りにある「にしむら珈琲本店」の浜側。高島ビルの二階鯛料理の「味鶴」へ、初めて招かれたのは、須磨寺の須磨琴がこの秋、東京国立小劇場でリサイタルを開くという企画があり、主催者の小池美代子先生たちと、印刷美術を担当するために出かけたのがこの二月のことである。

夜も遅く、鯛ちりの美味しさについてい食べすぎってしまったのだが、驚いたのは清しいお座敷のカウンターと、小部屋、二十人、四十人（70人も可）の部屋がある南側の大きく開いた窓から、生田の

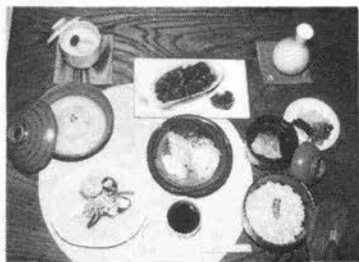


森の緑がおしゃれな風情のある借景だった。

開店は、昨秋とかで主の鶴さんことヒゲの鶴本研二さん（39才）は、木綿の藍染の作無衣を着て、胸元にペンダントをかける異色ぶり。

鯛ちり（5,500円、コース7,500円）というリーズナブルな値段と味に、尋ねてみると、故郷四国松山の三津浜港で水揚げした瀬戸内海の、エビやカニをエサに潮にもまれた天然鯛が空輪で毎日とどくそう。

紅い椿が印象的な生田の森の借景と桜の枝を飾ったカウンターで今回は、ミニ会席（3,000円）をいただきたい。八品の中には、鯛のサシミ、鯛のサシミ、鯛まんじゅう、鯛ごはんなどが出て結構楽しいレ



オシャレなミニ会席

デイスコース。丹後、竹野酒蔵のちりめんの里というサラッとしたワインのような冷酒を最初の、仕上げは菊正の熱燗だ。

鶴さんの本職は、リフオーム・ファッションで十年。加納町太陽神戸銀行北の小路のビル（3階）で「真生」という店を持ち、「三愛」が得意さん。

スピード直しが専門で、ファッションパークの三階に春から店が出来るとか。

「ファッションとたべものの感性は一緒。神戸は食通の割に天然の鯛を食べてない。瀬戸内海のホンマの鯛はこんなじゃないという想いがあって始めたので、何でも冷凍を使うというのは仕込みが怠慢やと思う。だから鯛や蛸の自然のうまさを安く、ゆっくりしたお座敷で味あわせたかったんです」と鶴さん。

高校時代のラグビーの先輩（三津浜港の市場・中商店木谷社長）が魚のめんどろを見てくれる。神戸のお客は文句が多いが、それが何より嬉しい。多店舗化するときにはバンコクか中国でやりたいというスケールが楽しみ。

鯛の平造り、3,000円、うす造り1,500円、天ぷら900円、焼造り800円、鯛ぶつ700円、鯛会席15,000円、2万円、昼食小町弁当800円、四季弁当1,500円、味噌膳2,000円、ふぐちり6,000円他
★神戸市中央区中山手通2丁目1-12
高島ビル2F ☎078-3333-7438